

科目名 (科目番号)	保健栄養学特講Ⅲ (時間割参照)	教員名 澤田 他5名	学科等	保健栄養	選択	履修年次	4
			曜日・時限等	時間割表参照	単位数	1	
			授業形態	演習	オフィスアワー		
授業概要	各専門基礎科目担当教員により、それぞれの専門分野におけるトピックスや今期的問題について話題を提供する。学生はテーマに沿った情報収集や演習などを行い、知識を総合的に整理することにより栄養マネジメントに応用できる能力を涵養する。						
目的・目標	目的：管理栄養士養成教育課程における専門基礎科目の4年間の総括を行う。 目標：①人体の構造と機能および疾病の成り立ちについて理解を深める。 ②公衆衛生、食べ物と健康について理解を深める。						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。						
授業計画	授業項目		到達目標・学習内容				
	オムニバス方式／全10回(1.5コマ授業)						
	澤田和彦/2回：人体の構造と機能 到達目標 人体を構成する各器官の系統、構造および機能について説明することができる。 学習内容 人体の構造と機能に関連する話題提供と演習。						
	可知謙治/2回：疾病の成り立ち 到達目標 栄養に関連した様々な疾病の原因と病態、臨床症状、検査と診断、治療について説明することができる。 学習内容 疾病の成り立ちや臨床医学に関連する話題提供と演習。						
	助川宏子/2回：食べ物と栄養 到達目標 食品の種類と機能、成分、栄養価、加工法について説明することができる。 学習内容 食品学、食品加工学および調理学に関連する話題提供と演習。						
	1回：生化学 到達目標 生体を構成する物質の構造、性質、機能、代謝について説明することができる。 学習内容 生化学に関連する話題提供と演習。						
	林原好美/2回：公衆衛生学 到達目標 公衆衛生の疫学関連分野について説明することができる。 学習内容 公衆衛生学の疫学関連分野の話題提供と演習。						
	小高秀正/1回：食品衛生学 到達目標 食中毒の種類と予防対策、HACCPについて説明することができる。 学習内容 食品衛生学に関連する話題提供と演習。						
成績評価の方法・基準	対面時：期末試験（100%） オンライン時：授業内課題(100%)						
教科書							
参考図書							
教員からのメッセージ	オムニバス方式の授業(1.5コマ x10回)を行います。授業の最初にオリエンテーションを行います。授業の進度、その他必要性に応じて内容を変更することがあります。 管理栄養士国家試験を受験希望する学生は、履修することが望ましい。 オンライン授業に伴い授業計画に変更がある場合は、オンラインクラスで変更のシラバスを周知いたします。						